

水巻町国際交流協会
20周年記念事業

医師中村哲 現地活動35年の軌跡



PMS (平和医療団・日本)

上映会

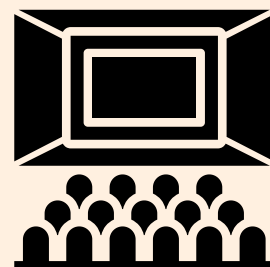
「百の診療所より一本の用水路を」

荒野に希望の灯をともす

2025年 2月1日(土) 12:30 開場
13:00 スタート <上映時間1時間30分>

水巻町中央公民館 大ホール

入場料:無料
申込:不要
定員:500名



※満席の場合、入場をお断りさせていただく場合がございます。

お問合せ 水巻町国際交流協会 093-201-4321 (390)

中村哲 なかむらてつ



本来の素朴な正義感や思いやりを
理屈の中で変質させてはいけない
それぞれの「ペシャワール」に向けて
良心の実弾をぶち込め

中村 哲 ペシャワール会報より

昭和21年に福岡市で生まれ。九州大学医学部を卒業後、国内の病院勤務を経て、昭和59年にパキスタン北西辺境州の州都ペシャワールの病院に赴任。ハンセン病などの治療に始まり、難民キャンプや山岳地域での診療へと活動を広げ、平成3年にアフガニスタンに最初の診療所を開設した。その後、アフガニスタン東部山岳部の3診療所を中心に医療活動を行う中、平成12年に大干ばつがアフガニスタンを襲った際、医療だけでは人の命を救うことができない現実を前にし、安全な水を得るため、1,600本の井戸を掘り、さらには日本伝統の治水技術を用いて灌漑用水路を建設し、広大な農地を回復、開拓した。用水路工事は雇用を生み、難民の帰還を促すとともに、彼らが農民として平和に暮らすことを可能にした。その後も、ペシャワール会の現地代表として常に医療や国際協力の現場で先頭に立ち、農地の回復、開拓を続け、令和元年までに1万6,500ヘクタールの大地を緑に甦らせ多くの人々に水の恵みをもたらした。その活動は国内外で高く評価され、これまでに、アジアのノーベル賞とも呼ばれるマグサイサイ賞をはじめ、ガジ・ミール・マスジット・カーン勲章（アフガニスタン国家勲章）、旭日双光章など数々の賞を受賞。福岡市においても平成25年に福岡市出身者として初めて福岡アジア文化賞大賞を贈賞。さらに令和元年10月にはアフガニスタンから名誉市民権が授与され、亡くなられた後においても、長年にわたる国際人道支援や国際協力への貢献を称え、同年12月には旭日小綬章が授与された。

ペシャワール会 写真展も同時開催



1月25日（土）
～2月1日（土）
水巻町中央公民館
1階ロビー

